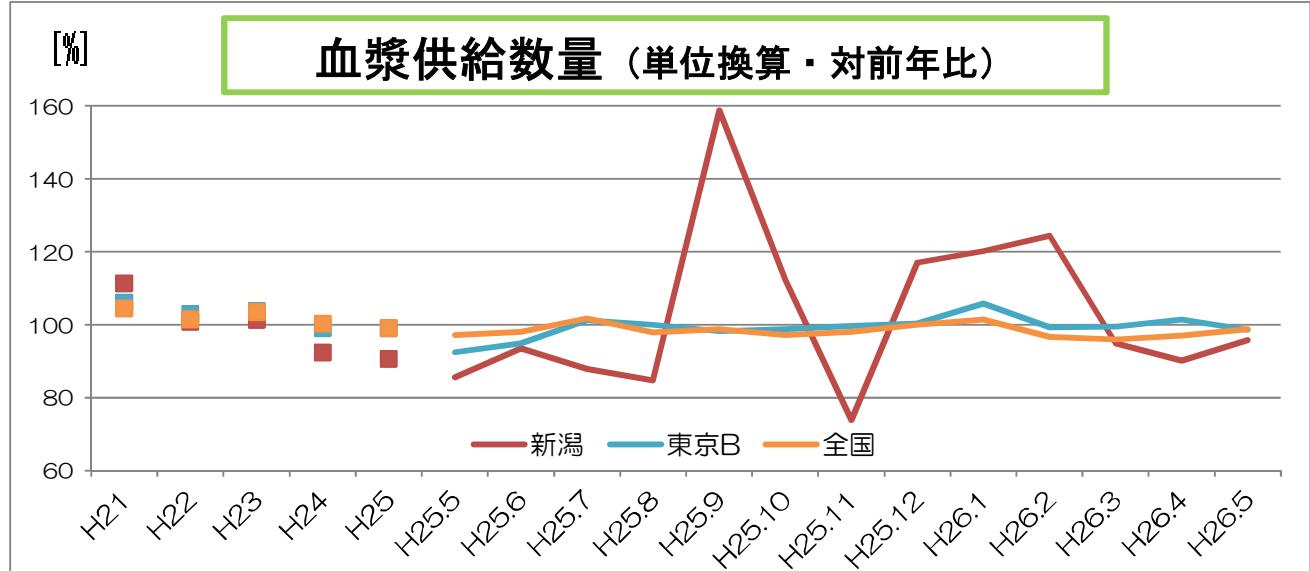
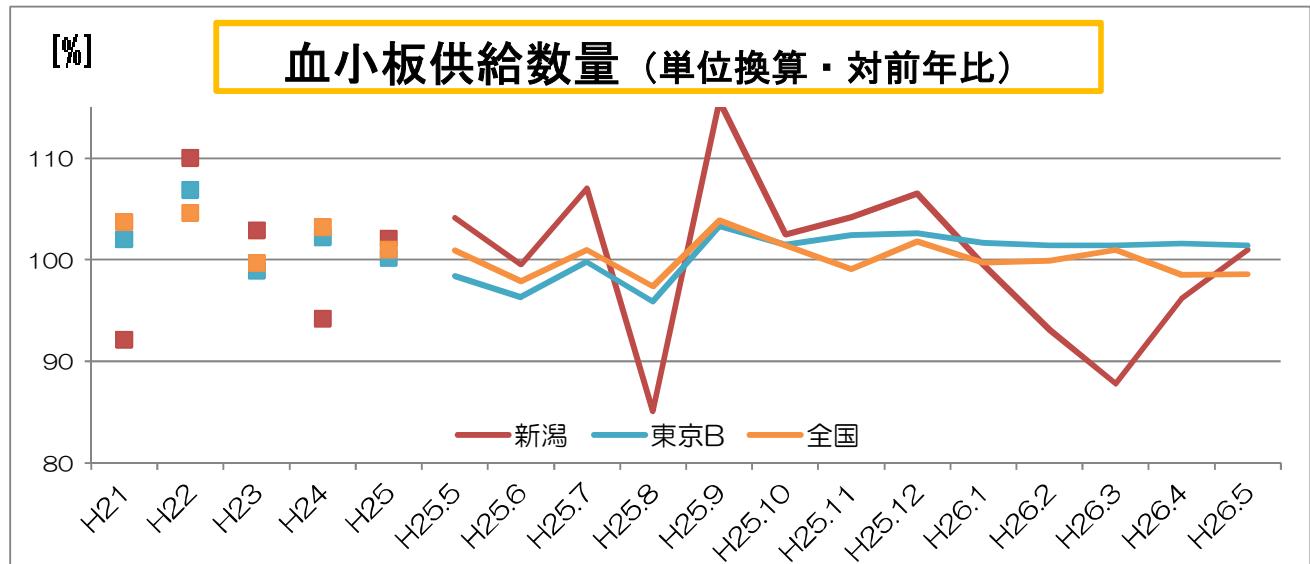
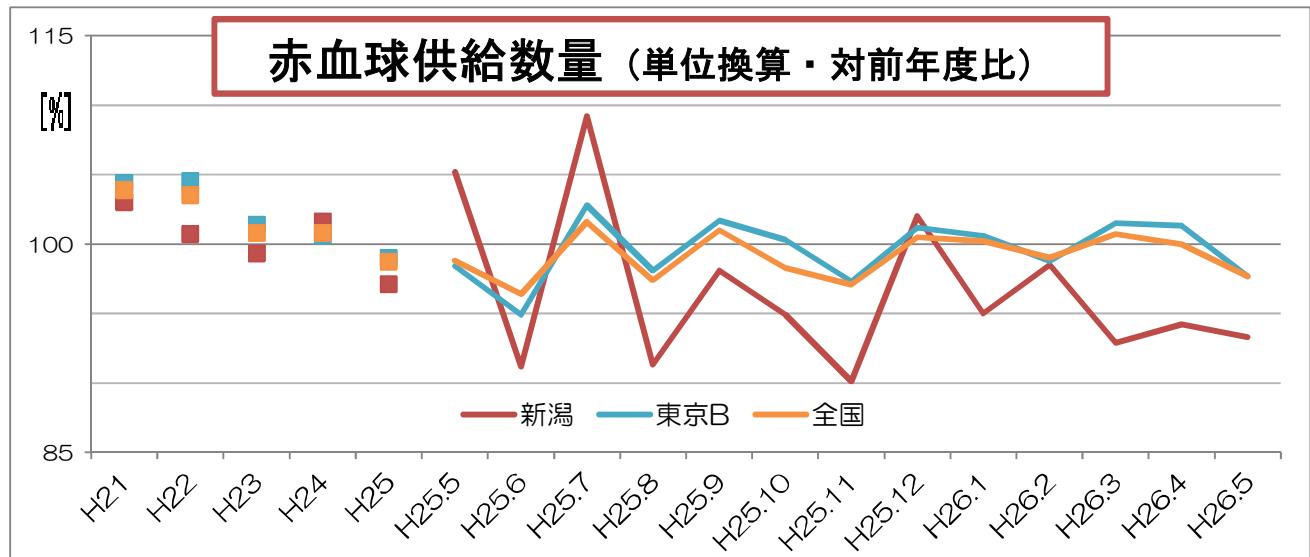
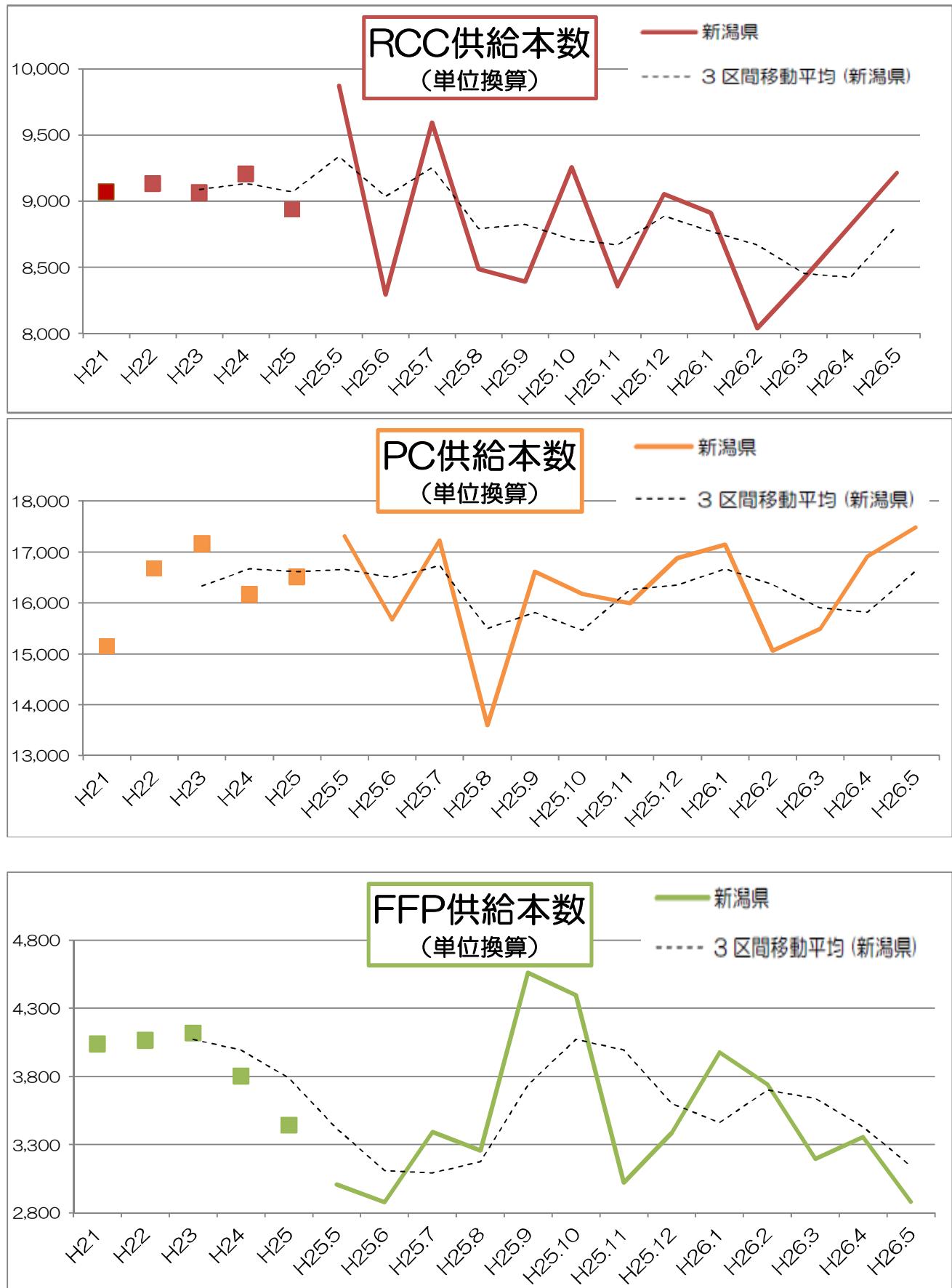


* 日本赤十字社ホームページ「数値で見る血液事業」より引用。

* 管内供給本数を単位換算、対前年同月比で示した。過去 5 年(月平均供給本数)のデータを追加した。





H26 年 血液製剤使用状況集計結果

対象： 新潟県内の輸血を行う主要な医療機関 82 施設

入力いただいたデータは下記の表の通り一般病床数により 6 つの規模別に分類して集計

◆5 月の特徴：血漿製剤の使用量減少が目立った。内科が先月の 60%、施設別では規模 A の使用量が 74.3% (-43L)。一方で赤血球製剤と血小板製剤は 4~5% 使用量が増加、併せて同種血輸血患者数も増加 (+8.7%)。廃棄率は血小板、血漿で増加傾向を示した。

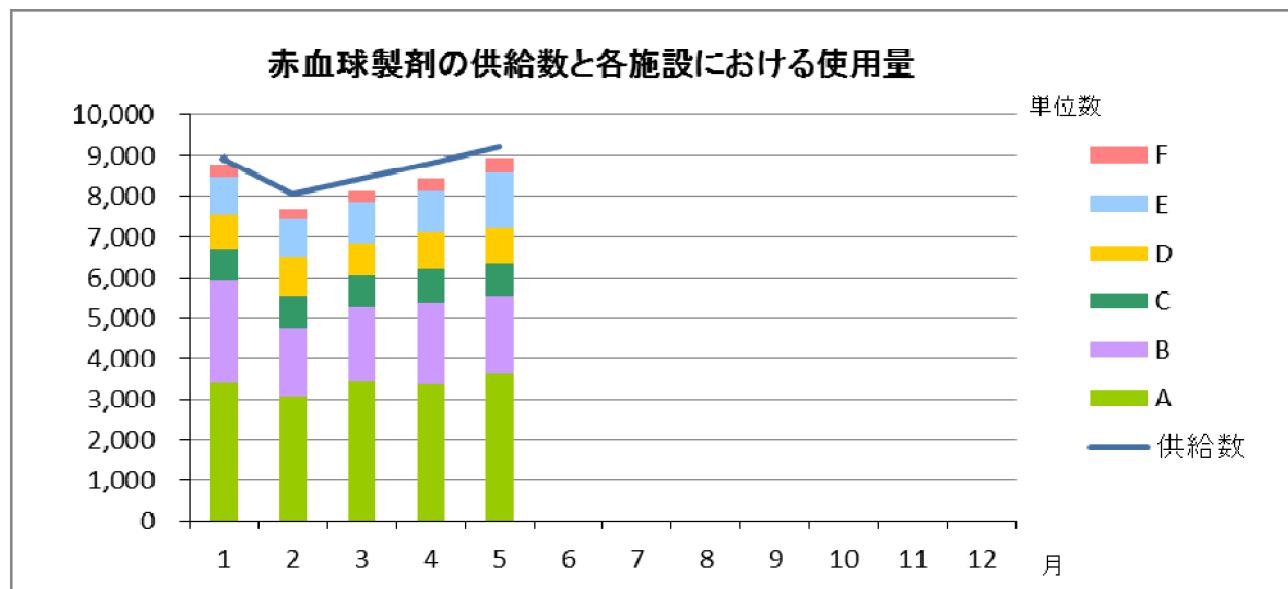
施設規模(一般病床数による)		施設数	病床数
A	500床以上	6	3,562
B	400~499床	5	2,135
C	300~399床	7	2,223
D	200~299床	9	2,226
E	100~199床	23	3,674
F	0~99床	32	1,626
計		82	15,446

○赤血球製剤

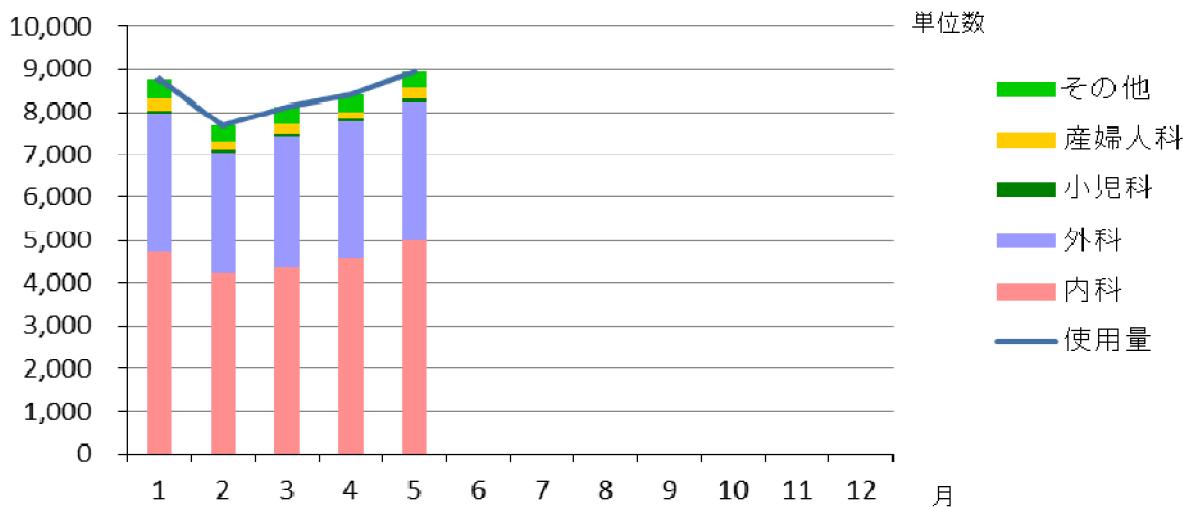
赤血球製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別						全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計	
A	3,619	1,911	1,175	83	214	236	3,619	100.0
B	1,907	1,044	778	2	4	79	1,907	100.0
C	812	487	315	0	10	0	812	100.0
D	900	483	347	0	6	64	900	100.0
E	1,332	798	529	0	5	0	1,332	100.0
F	370	276	94	0	0	0	370	100.0



各施設における赤血球製剤の使用量と各診療科別の使用量



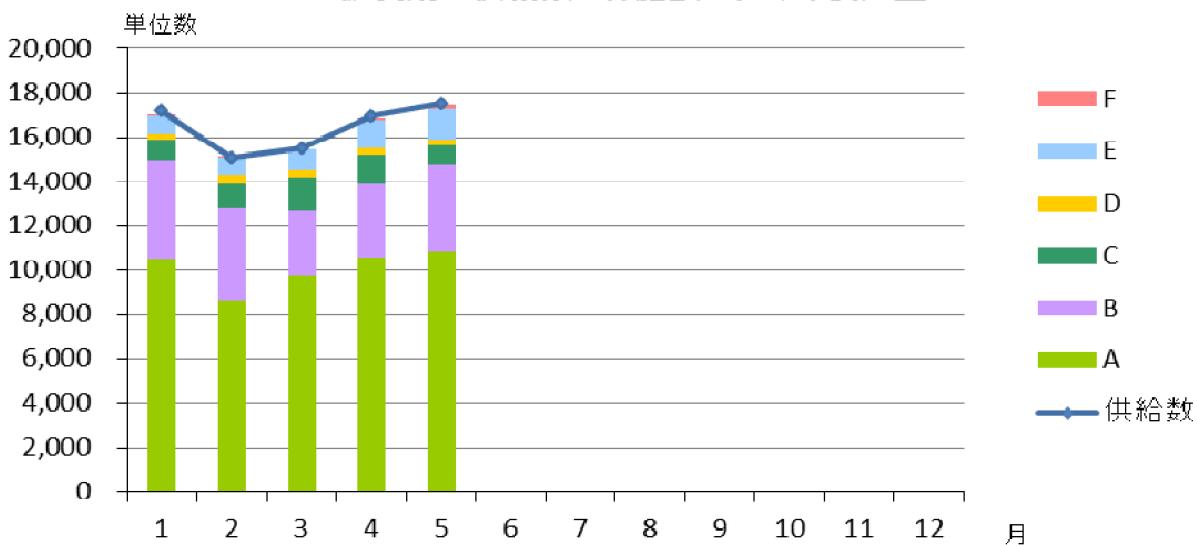
○血小板製剤

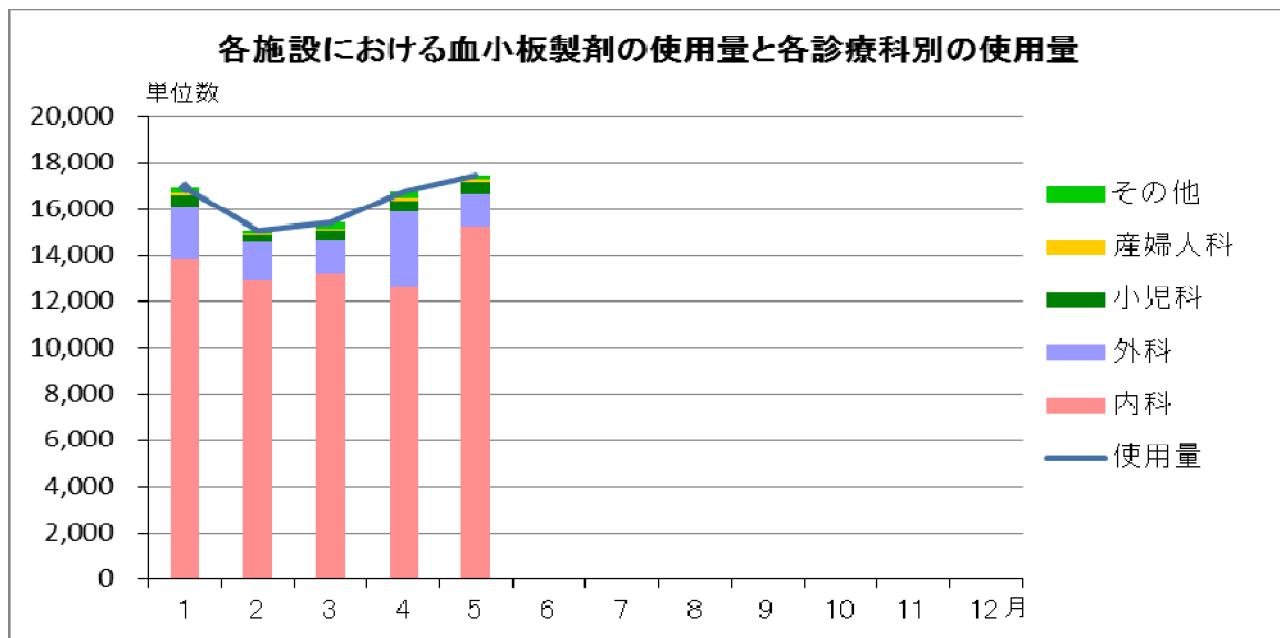
血小板製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (単位)	診療科別						全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計	
A	10,805	9,340	710	520	120	115	10,805	100.0
B	3,965	3,470	495	0	0	0	3,965	100.0
C	865	825	40	0	0	0	865	100.0
D	215	190	25	0	0	0	215	100.0
E	1,395	1,370	25	0	0	0	1,395	100.0
F	195	80	95	0	0	20	195	100.0

血小板製剤の供給数と各施設における使用量



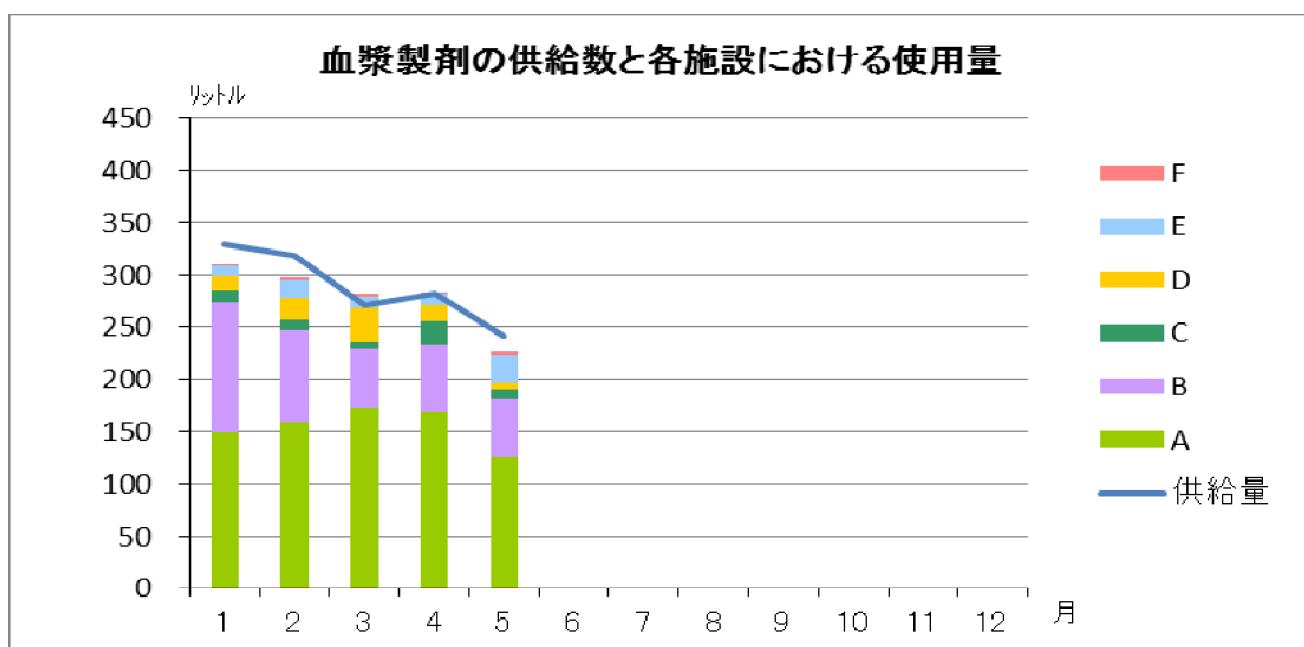


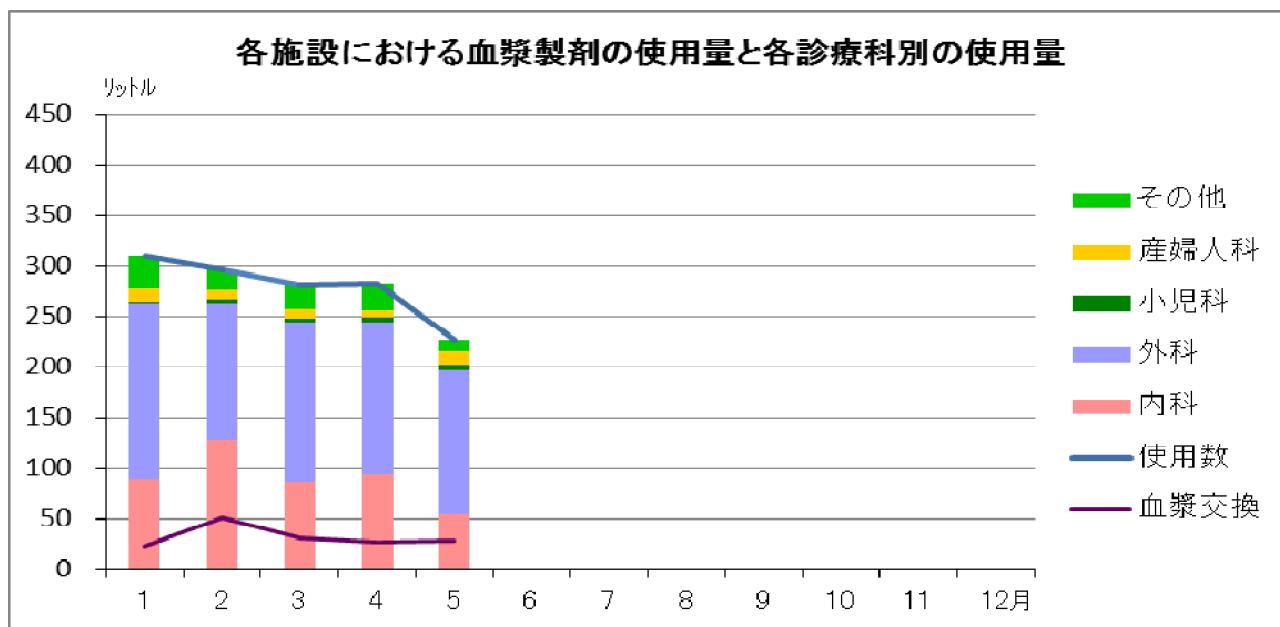
○血漿製剤

血漿製剤の使用量と各診療科別による使用量

* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	全体の使用量 (リットル)	診療科別						全体の使用量 に対する割合 (%)
		血漿交換	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	
A	125.9	8.6	33.1	66.7	4.4	11.8	9.8	125.9 100.0
B	55.4	0.0	12.5	42.7	0.2	0.0	0.0	55.4 100.0
C	8.2	0.0	1.0	5.8	0.0	1.4	0.0	8.2 100.0
D	7.4	0.0	3.1	2.9	0.0	0.0	1.4	7.4 100.0
E	26.6	19.2	3.6	23.0	0.0	0.0	0.0	26.6 100.0
F	2.5	0.0	1.1	1.4	0.0	0.0	0.0	2.5 100.0



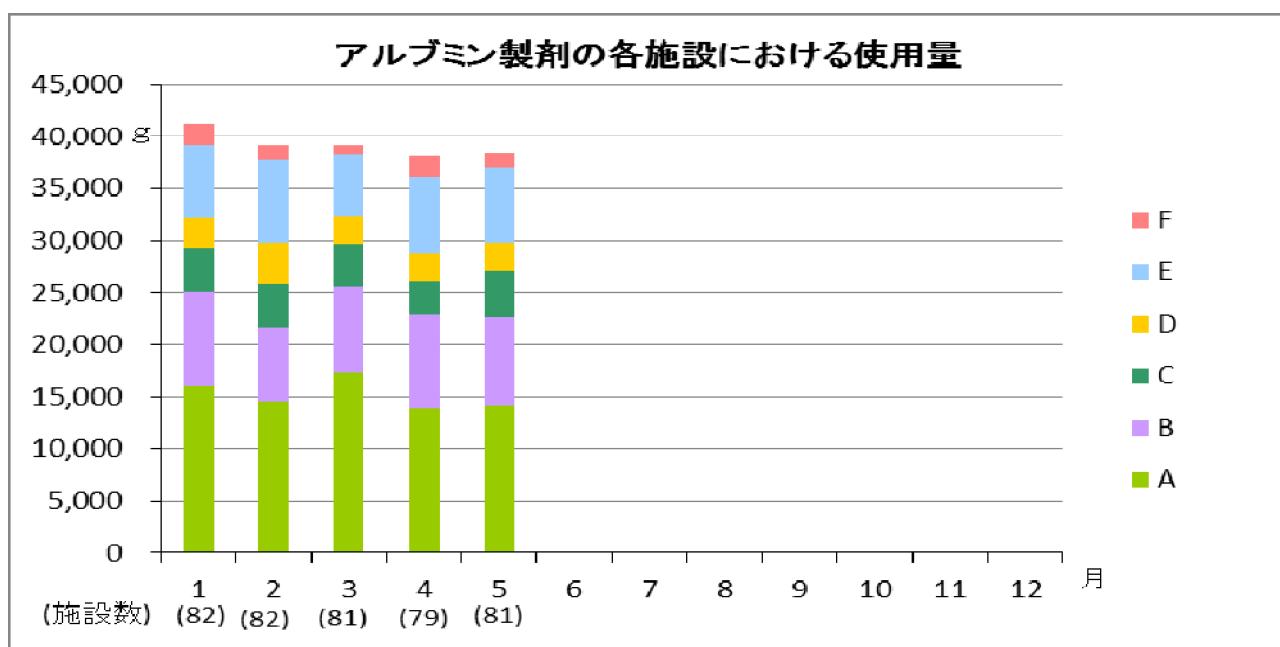


○アルブミン製剤

アルブミン製剤の使用量と各診療科別による使用量

- * 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示
- * 他の血液製剤と異なり全ての医療機関から回答を頂けていないため、入力されたデータのみ表示
- * () 内はアルブミン製剤の使用量の入力がされた施設数を表したもの

規模別	全体の使用量 (グラム数)	診療科別					全体の使用量に 対する割合(%)
		内科	外科	小児科	産婦人科	その他	
A (6/6)	14,217.8	2,770.0	4,355.3	75.0	270.0	25.0	7,495.3 52.7
B (5/5)	8,462.5	2,762.5	3,187.5	0.0	0.0	37.5	5,987.5 70.8
C (7/7)	4,372.0	2,837.5	1,534.5	0.0	0.0	0.0	4,372.0 100.0
D (9/9)	2,697.3	1,748.3	511.5	0.0	0.0	0.0	2,259.8 83.8
E (23/23)	7,212.0	3,670.0	1,792.0	0.0	0.0	170.0	5,632.0 78.1
F (31/32)	1,490.0	1,143.0	309.5	0.0	0.0	0.0	1,452.5 97.5



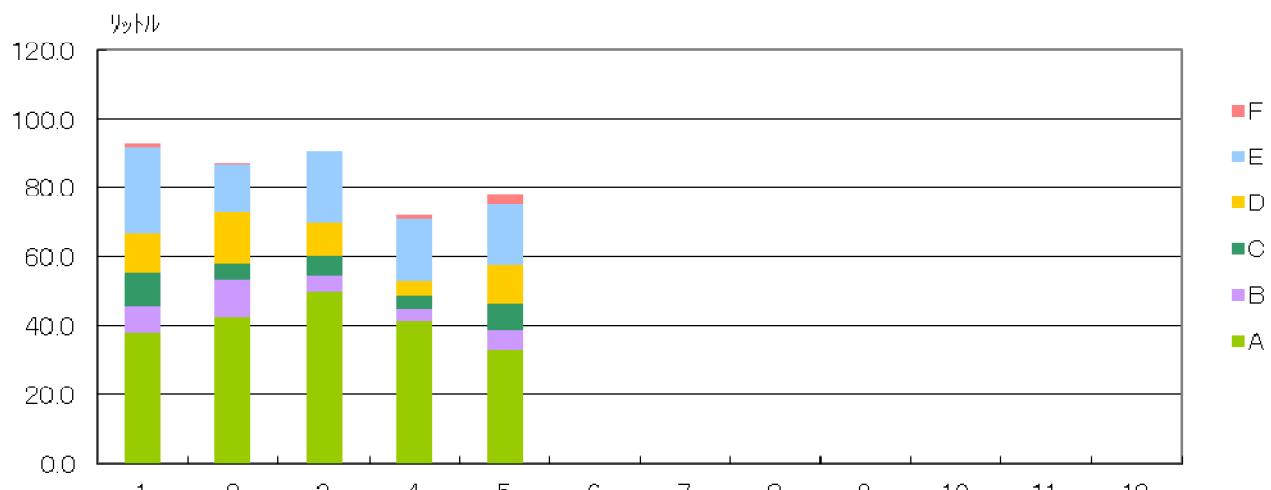
○自己血

自己血の使用量と各診療科別による使用量

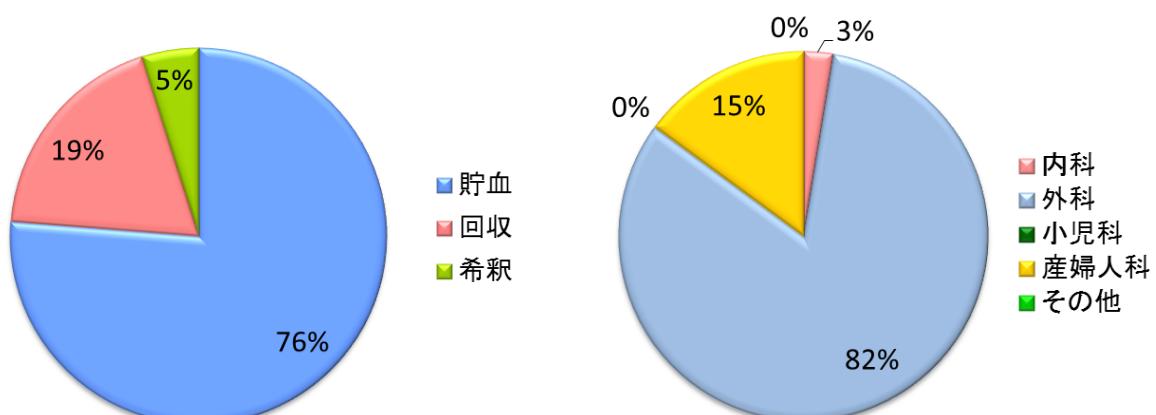
* 各診療科別の使用量の回答率は全体の使用量に対する割合で表示

規模別	自己血使用量(リットル)				診療科別						全体の使用量に対する割合(%)
	貯血	回収	希釈	計	内科	外科	小児科	産婦人科	その他	計	
A	18.9	10.2	3.8	32.9	2.0	22.9	0.0	8.1	0.0	32.9	100.0
B	5.5	0.4	0.0	5.9	0.0	3.2	0.0	2.7	0.0	5.9	100.0
C	7.6	0.0	0.0	7.6	0.0	7.6	0.0	0.0	0.0	7.6	100.0
D	7.2	4.0	0.0	11.2	0.0	10.8	0.0	0.4	0.0	11.2	100.0
E	17.5	0.0	0.0	17.5	0.0	16.0	0.0	0.3	0.0	16.3	93.1
F	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	100.0
計	59.5	14.7	3.8	78.0	2.0	63.3	0.0	11.5	0.0	76.8	98.5

自己血の各施設における使用量



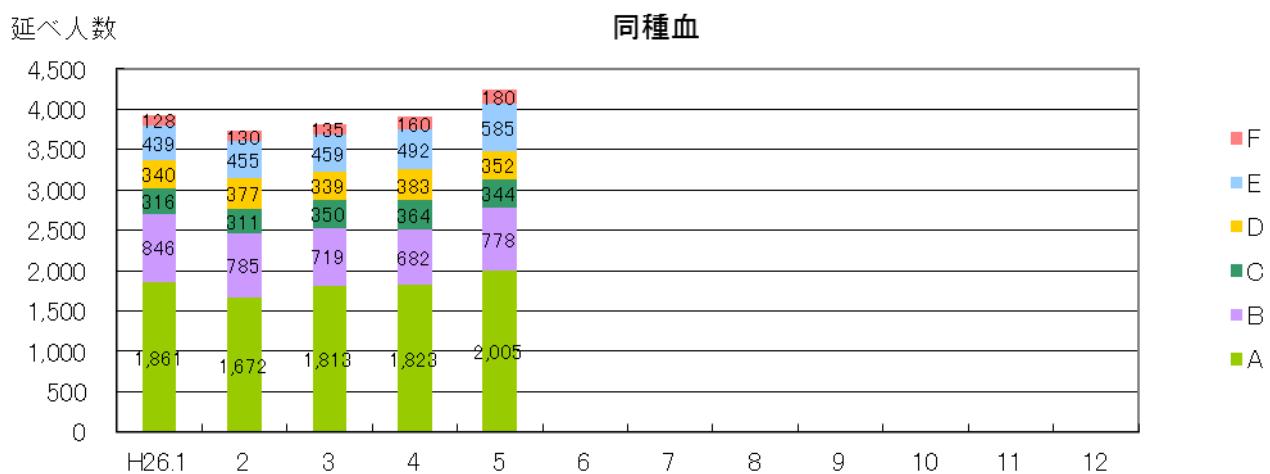
【自己血輸血の種類と診療科別の割合】



○輸血実施患者数（延べ人数）

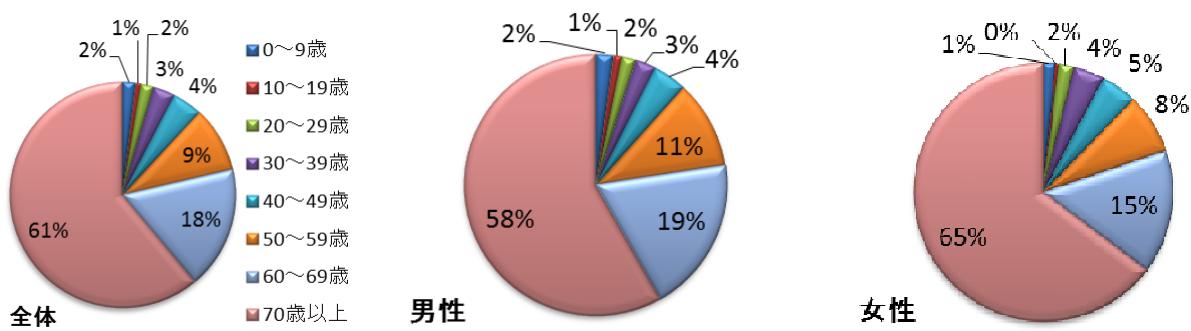
5月	A	B	C	D	E	F	Total
同種血	2,005	778	344	352	585	180	4,244
1床あたり	0.56	0.36	0.15	0.16	0.16	0.11	0.27
自己血	67	15	17	20	29	5	153
アルブミン	404	442	236	183	271	52	1,588

※ アルブミンについては全施設がデータ提出しているわけではないので参考データ扱い。



【男女別年代別の同種血延べ人数】(データ提出された 54 施設分のみ)

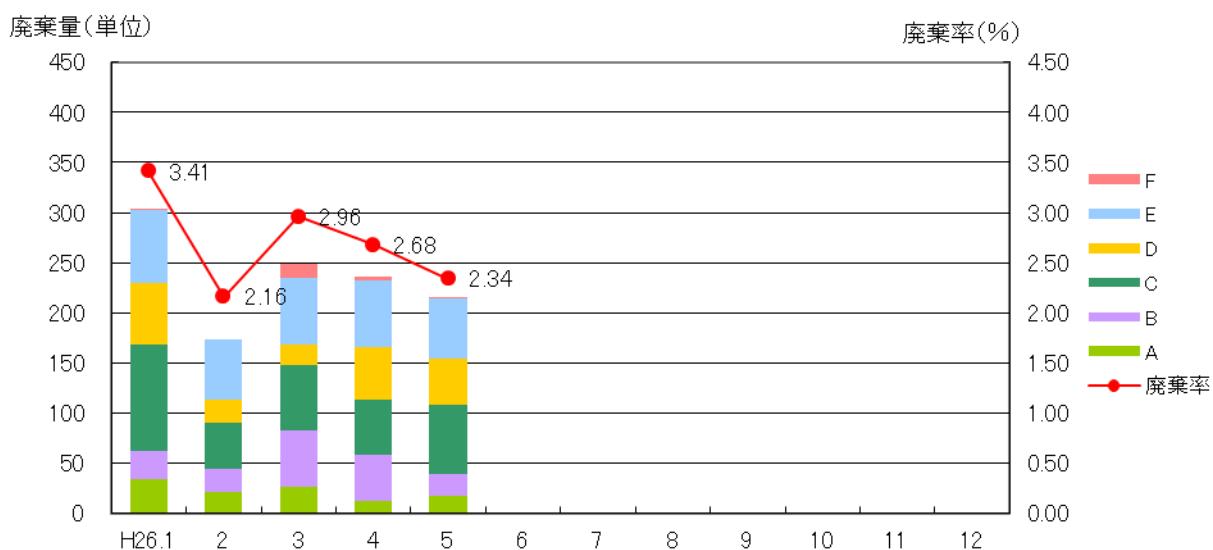
5月	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	Total
男	32	15	26	38	63	162	286	865	1,487
女	17	5	23	45	53	88	181	756	1,168
計	49	20	49	83	116	250	467	1,621	2,655



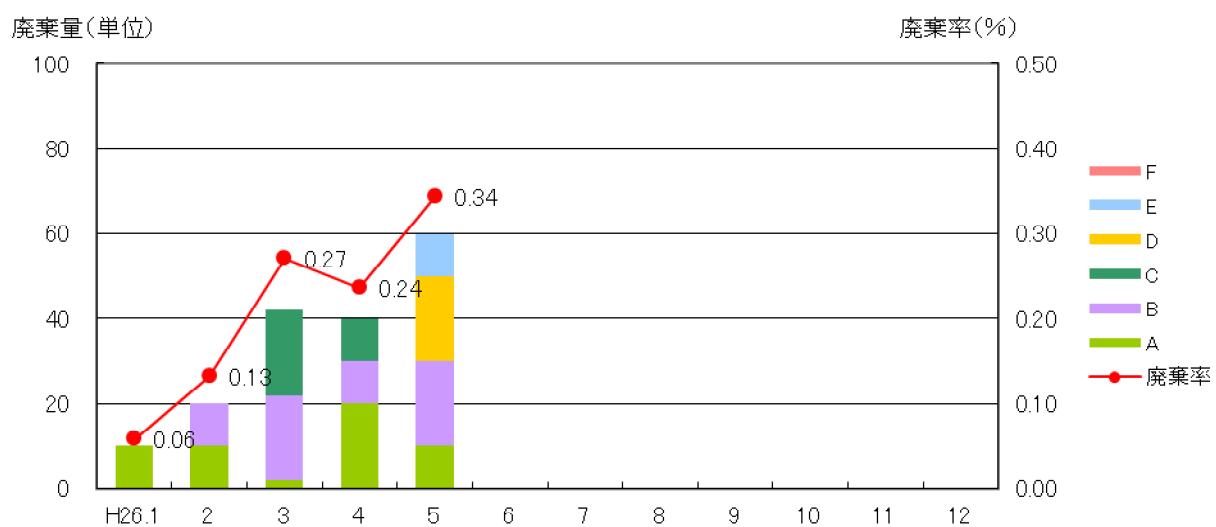
○血液製剤及び自己血の廃棄率

5月	A	B	C	D	E	F	Total
赤血球製剤(単位)	18	21	70	46	59	2	216
血小板製剤(単位)	10	20	0	20	10	0	60
血漿製剤(リットル)	3.1	2.4	1.0	0.7	2.4	0.0	9.6
自己血(リットル)	3.6	0.4	2.4	0.4	0.7	0.8	8.3

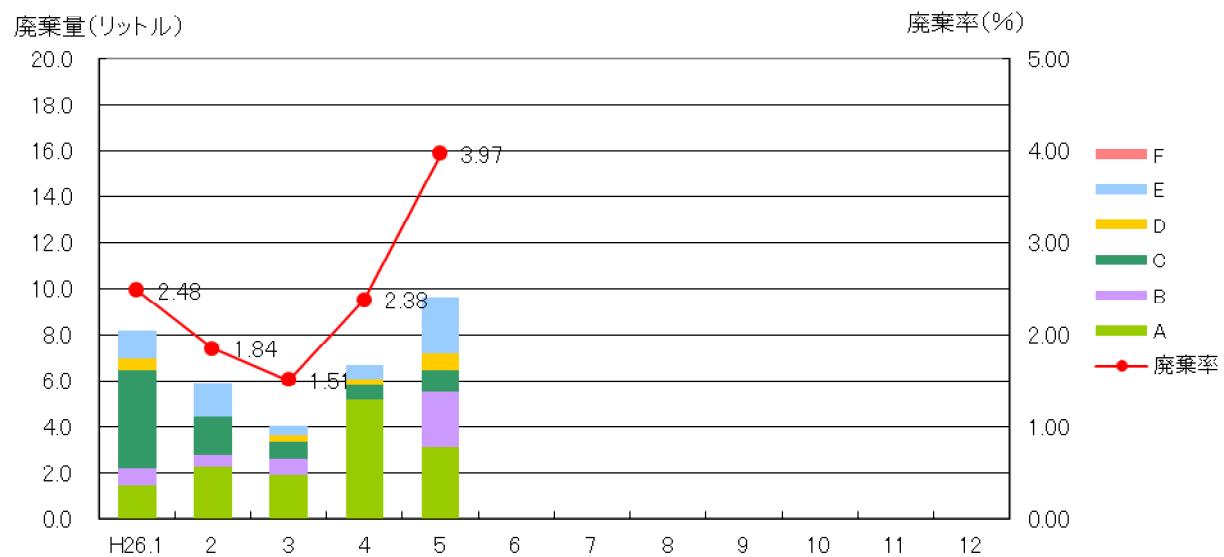
赤血球製剤の廃棄量と廃棄率



血小板製剤の廃棄量と廃棄率



血漿製剤の廃棄量と廃棄率



自己血の廃棄量

